



兵庫県豊岡市 城下町出石

# 有子山城築城 450周年 記念シンポジウム

# 名門山名氏

# 再起を図る!



●とき  
2024年  
12月1日(日) 13:30~16:00

●ところ  
出石永楽館  
(兵庫県豊岡市出石町柳17-2)

## ●プログラム

13:30 開会挨拶 豊岡市長 関貫 久仁郎

13:40 ①有子山城跡調査報告  
仲田 周平氏 (豊岡市立歴史博物館)

14:00 ②基調講演「有子山城と日本の城」  
千田 嘉博氏 (名古屋市立大学高等教育院教授・奈良大学特別教授)

休憩 (10分)

14:50 ③シンポジウム 「名門山名氏、再起を図る!」

|    |                            |
|----|----------------------------|
| 講師 | 千田 嘉博氏                     |
|    | 永恵 裕和氏 (兵庫県立考古博物館) / 摂津・播磨 |
|    | 西岡 真理氏 (丹波市教育委員会) / 丹波     |
|    | 岡村 吉彦氏 (元鳥取県史編纂室長) / 因幡    |
|    | 仲田 周平氏 (豊岡市立歴史博物館) / 但馬    |
| 進行 | 小寺 誠 (出石振興局文化財活用推進員)       |

15:50 閉会挨拶 有子山城築城450周年事業実行委員会 実行委員長 徳網 靖

●主催：有子山城築城450周年事業実行委員会 / (一財)自治総合センター

# 有子山城調査報告

豊岡市立歴史博物館 仲田 周平

## 1 有子山城跡の構造

- ・城の範囲
- ・山名氏時代の城、天正8年以降に改修された姿
- ・但馬の山城との比較

## 2 守護所の位置

## 3 城下町のはじまり



有子山城跡縄張り図



# シンポジウム「名門山名氏 再起を図る」

|    |               |    |    |
|----|---------------|----|----|
| 講師 | 名古屋市立大学教授     | 千田 | 嘉博 |
|    | 兵庫県立考古博物館     | 永恵 | 裕和 |
|    | 丹波市教育委員会      | 西岡 | 真理 |
|    | 元鳥取県史編纂室      | 岡村 | 吉彦 |
|    | 豊岡市立歴史博物館     | 仲田 | 周平 |
| 進行 | 出石振興局文化財活用推進員 | 小寺 | 誠  |



関係山城位置図

## 関係年表

|  | 丹波   | 播磨  | 但馬  | 因幡・毛利   |
|--|--|---|---|---|
| <b>足利義昭を奉じて上洛した信長が、義昭を追放する</b>               |  |   |   |   |
| 天正元年   | 8 羽柴秀吉が赤井氏へ干渉を始める  | 12 別所氏と浦上氏が和睦   |   | 6 尼子勢、因幡へ進攻<br>9 尼子勢、鳥取城攻略。<br>山名豊国が鳥取城へ入る  |
| 天正2年   |  |   | 山名祐豊、此隅山城から有子山城に移る  | 吉川元春、鳥取城の山名豊国を調略し味方につける   |
| 天正3年   | 6 明智光秀、内藤氏・宇津氏らを攻めることが決まる<br>10 光秀に黒井城が包囲され、萩野直正は竹田城を退き、黒井城に籠城する             | 4 播磨国衆が石山本願寺攻めに参加<br>5 恒屋氏が置塩城を攻め、撃退される。<br>9 荒木村重、播磨に出陣            | 5 山名祐豊と吉川元春が和睦(芸但和睦)<br><br>11 野田合戦<br>宵田城、楽々前城の垣屋氏は織田方と伝えられる | 6 尼子勢、若桜鬼ヶ城へ入る<br>10 吉川軍、私部城を攻略   |
| <b>足利義昭、毛利を頼って鞆に入る。織田と毛利の対峙が明確となる</b>        |  |   |   |   |
| 天正4年   | 1 波多野が裏切り、光秀が退却する<br>4 赤井・萩野が信長と和睦するが、毛利・武田・本願寺らの反信長派と連絡をとりあう                | 5 毛利勢が淡路に駐留(～天正8)→石山本願寺支援   | 八木氏、尼子勢と交戦<br>6 豊国、但馬杉谷へ進出し、但馬国人の取り込みを図る                      | 5 吉川軍、若桜鬼ヶ城攻略。<br>尼子勢は因幡国から撤退   |
| 天正5年   | 1 赤井・萩野が吉川元春に、丹波への出兵を請う<br>10 光秀、鞆井城を攻める。<br>11 鞆井両城が落城                      | 2 播磨国衆、雑賀へ侵攻<br>3 宇喜多が西播(龍野)へ侵攻<br>10 秀吉の播磨出陣<br>12 秀吉、上月城を攻める      | 5 秀吉の第1次但馬侵攻<br>11 秀吉、但馬室尾寺に禁制を発給                             |   |
| 天正6年   | 4 荒木城が落城<br>6 波多野・赤井・萩野が連携して動く<br>9 光秀、八上城に着陣するも、11月に摂津国へ派遣され、12月にふたたび八上城に着陣 | 3 三木合戦始まる<br>4 毛利勢が播磨上陸<br>5 織田信忠が三木合戦に参加。<br>7 上月城落城<br>10 荒木村重、謀反 | 4 水生古城の戦い<br>5 この頃までに山名祐豊は織田方となる<br>6 秀長が竹田城に入る               |   |
| 天正7年   | 6 明智光秀、八上城を攻略<br>8 明智光秀、黒井城を攻略   | 1 毛利勢、置塩城攻め<br>4 織田信忠が再度三木合戦に参加。<br>11 有岡城落城                        |   | 9～10 伯耆国の南条元統が毛利を離反し織田方に与する。  |
| <b>丹波は明智軍が平定し、摂津・播磨は秀吉の三木城、有岡城での戦いが一段落する</b> |  |   |   |   |
| 天正8年   | 7 利三は白毫寺へ還住の衆僧に対して、陣屋への人足を免じる  | 1 三木城落城<br>4 英賀・長水城落城<br>6 秀吉、因幡国攻めから姫路に帰陣                          | 4～5 秀長の第2次但馬侵攻。 <b>有子山城落城。但馬山名氏は滅亡する。</b> 但馬国人らも秀吉に降伏         | 5 秀吉の第1次因幡攻め<br>6 山名豊国、秀吉に降伏。<br>秀吉、但馬との国境に接する巨濃郡・法美郡・八東郡を但馬国人に与える<br>9 山名豊国、鳥取城から追放される |
| 天正9年   |  | 4 播磨国の城割<br>5 宮部善乗坊・羽柴秀長が「但馬表」に駐留                                   | 7 小代一揆平定  | 3 吉川経家、鳥取城入城<br>7 秀吉の第2次因幡攻め(織田信長の出陣計画あり)<br>10 吉川経家切腹、鳥取城落城                            |



出石城下町に残る山名四天王の地名



但馬山名氏と山名四天王の拠点



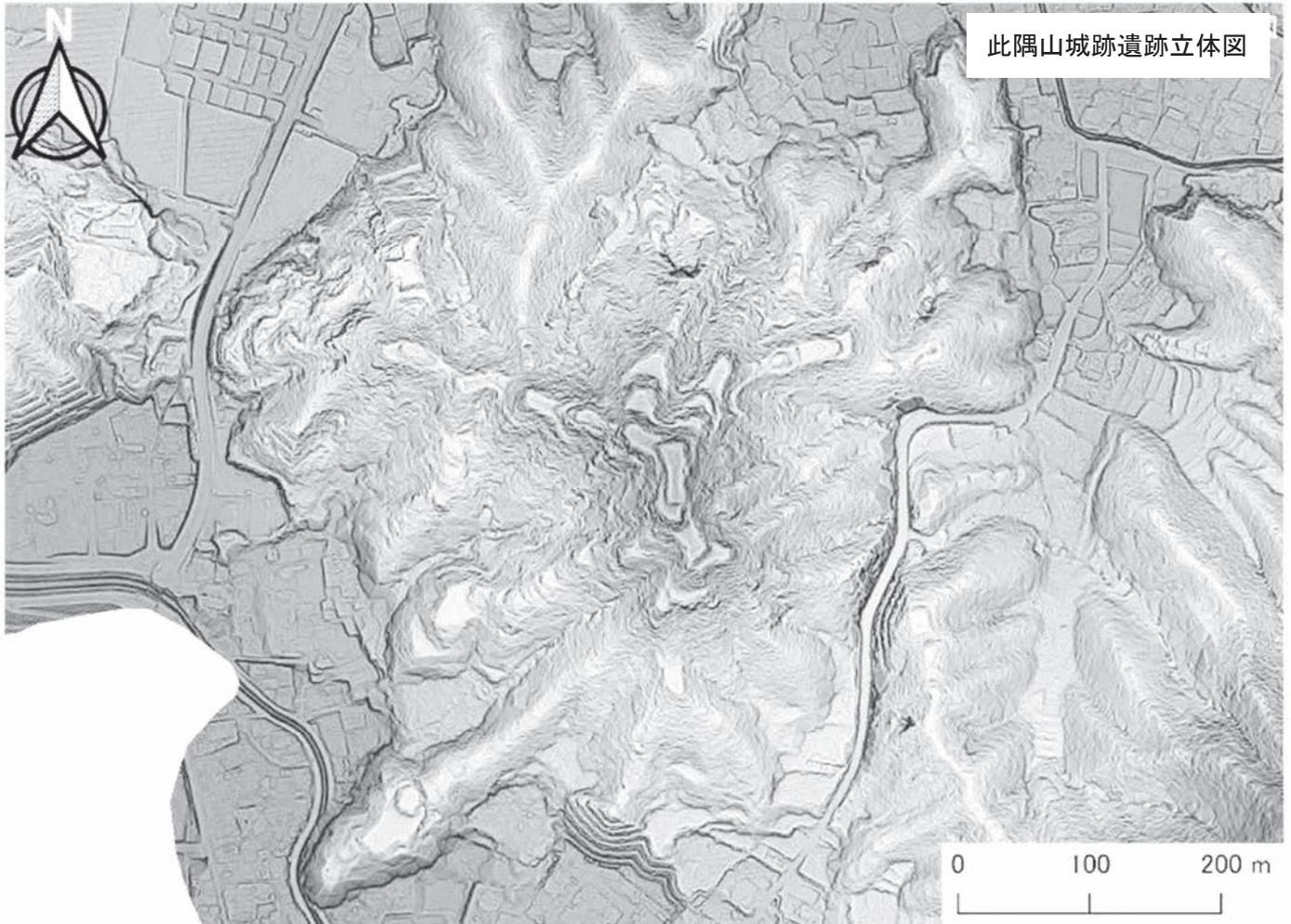
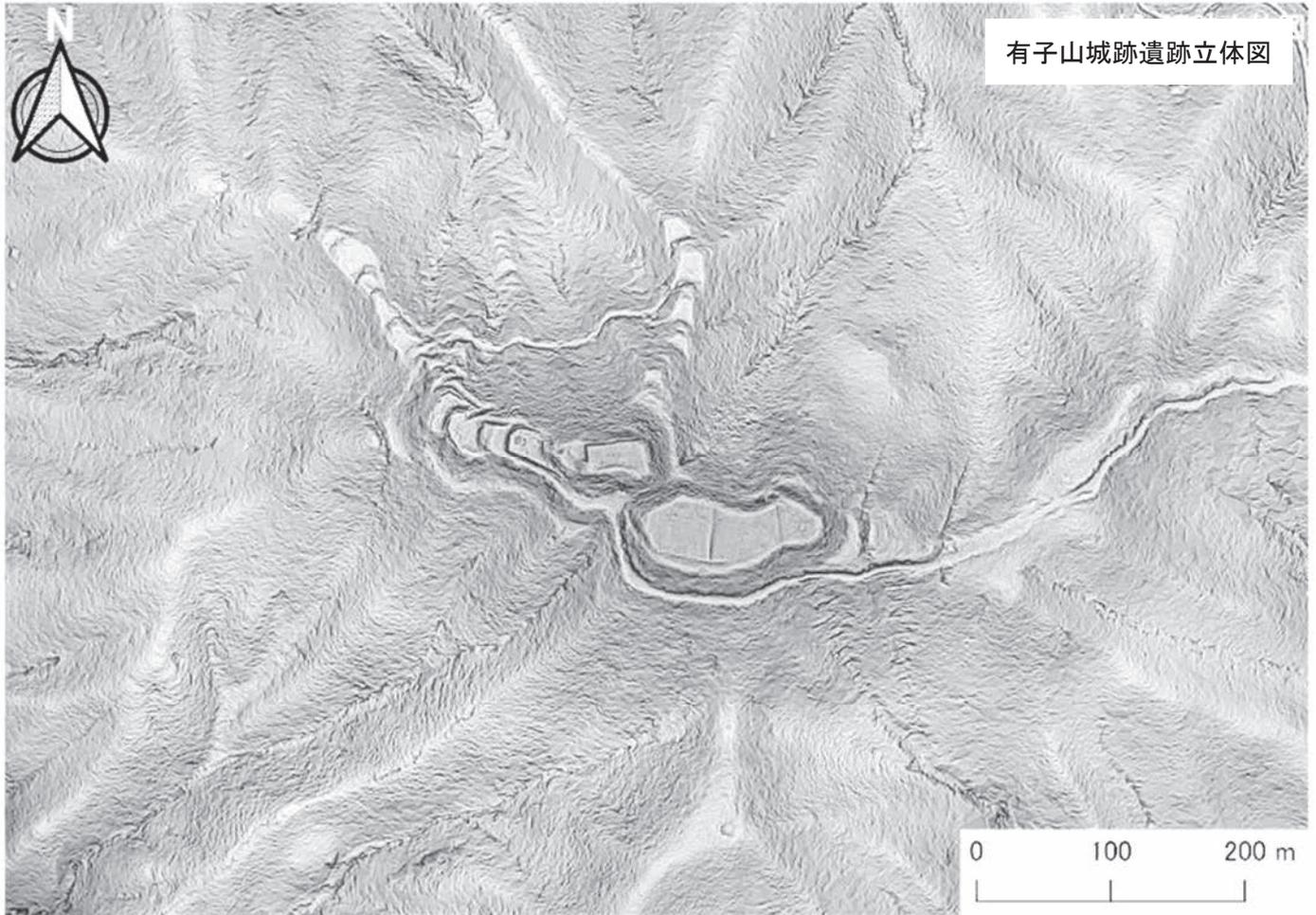
此隅山城跡イラスト

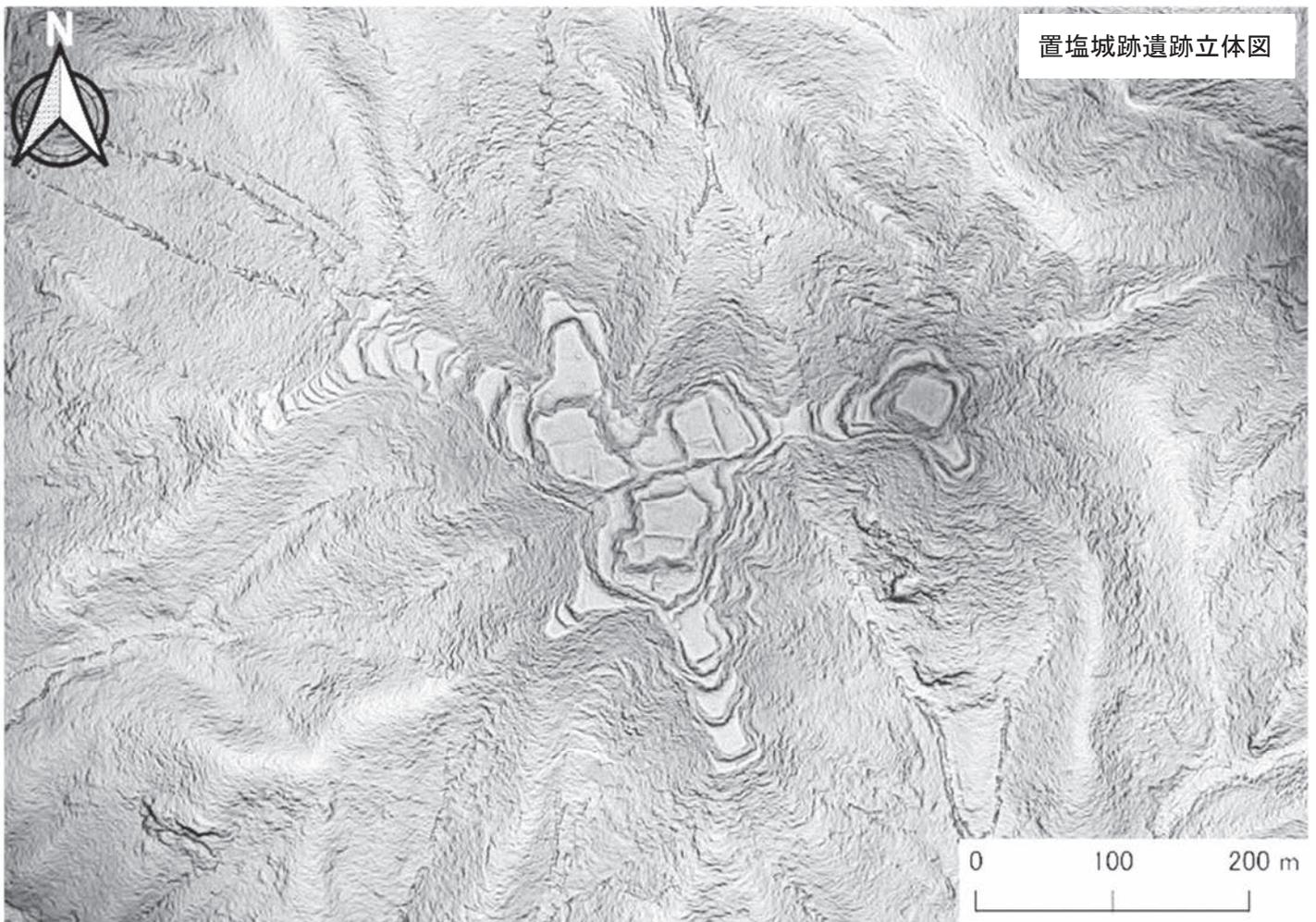
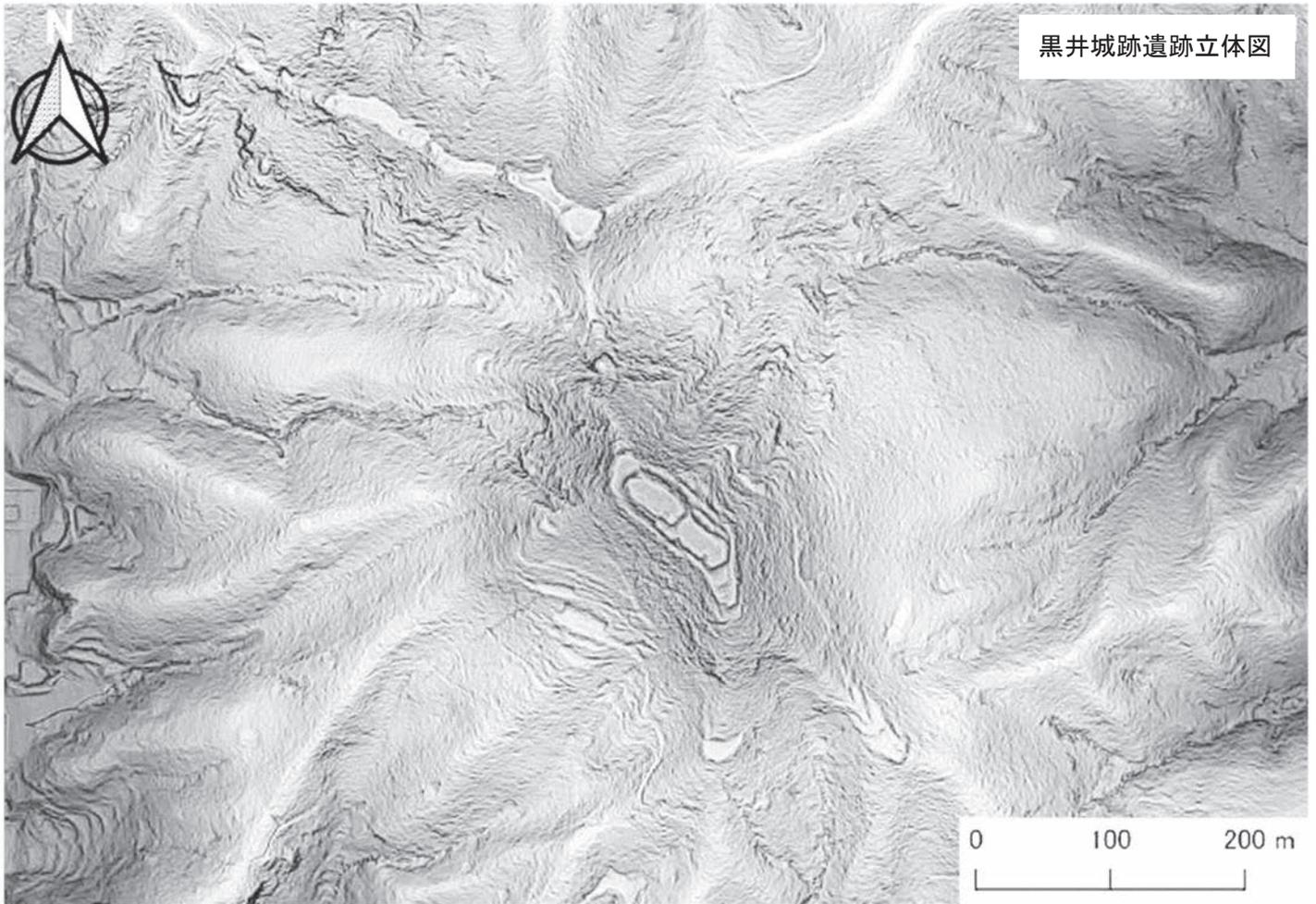


垣屋氏の居城  
楽々前城跡イラスト

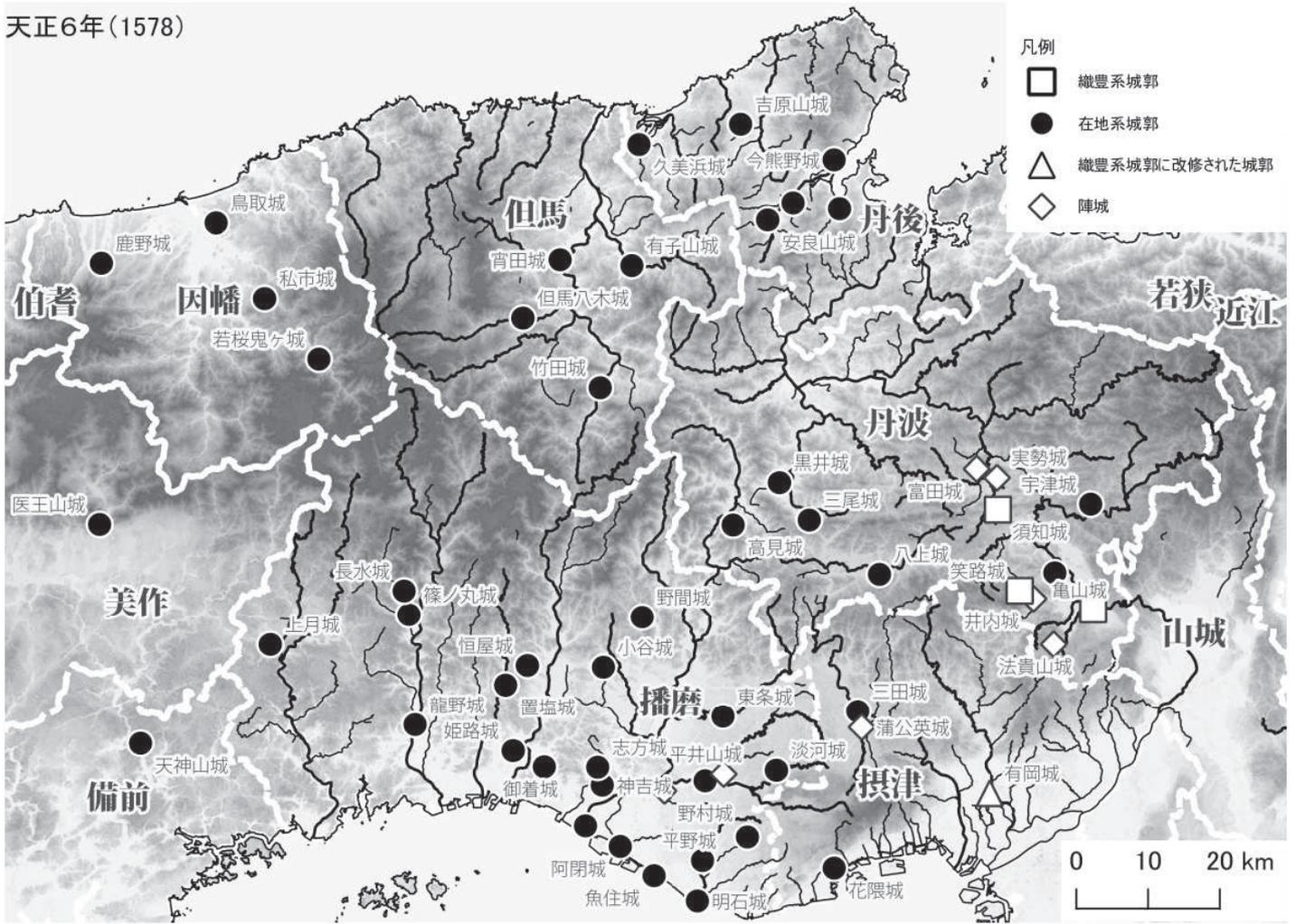


田結庄氏の居城  
鶴城跡イラスト

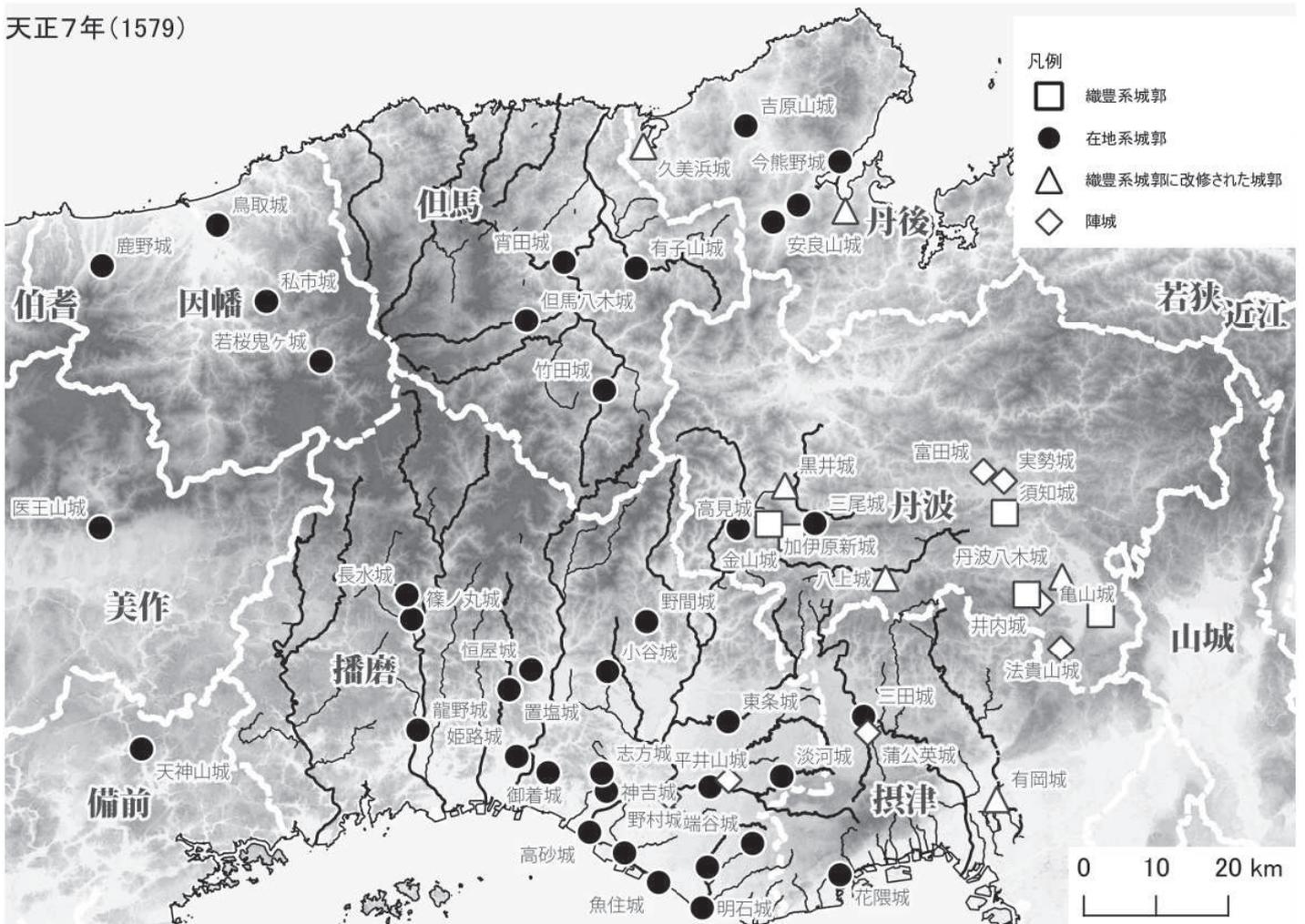




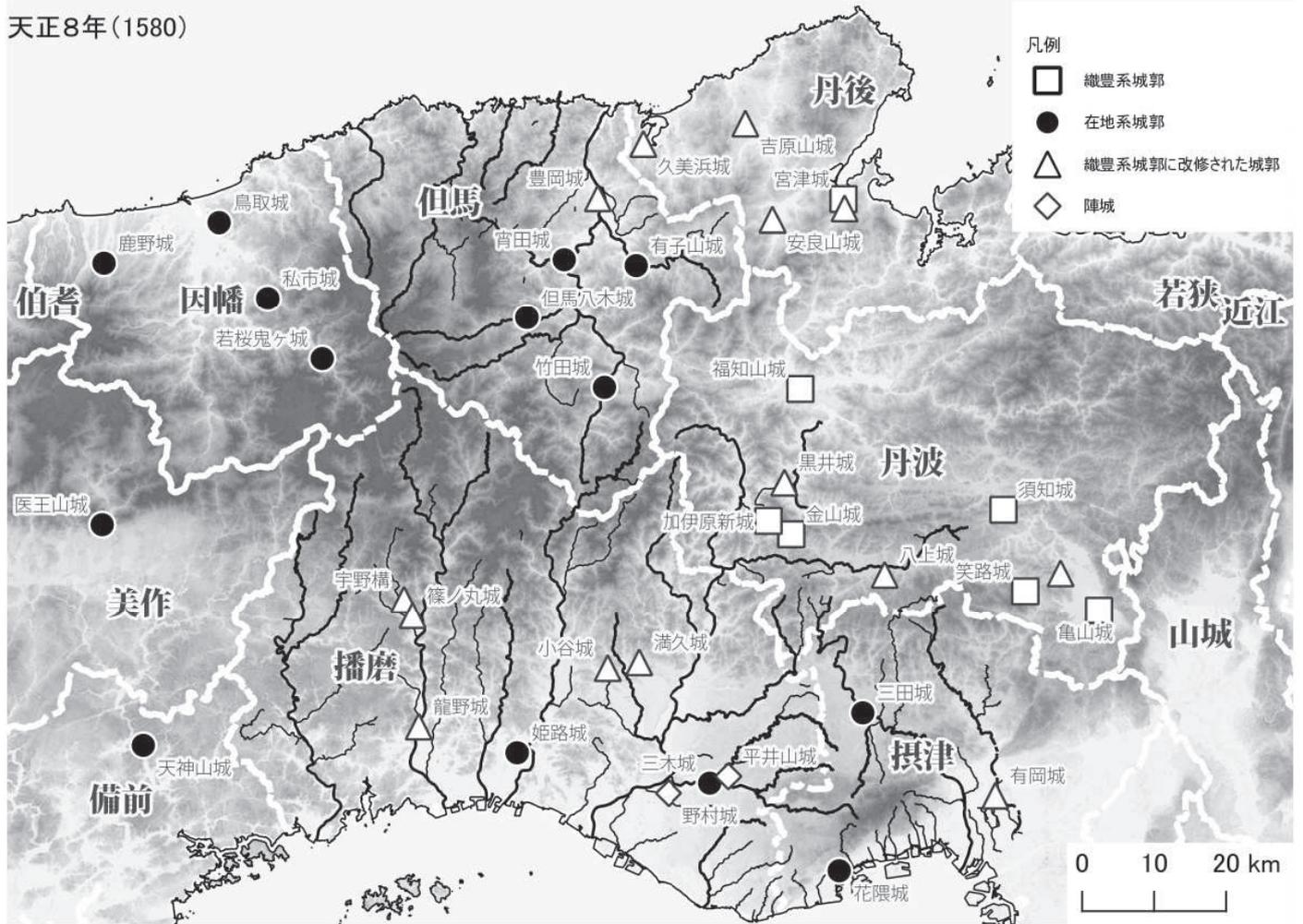
天正6年(1578)



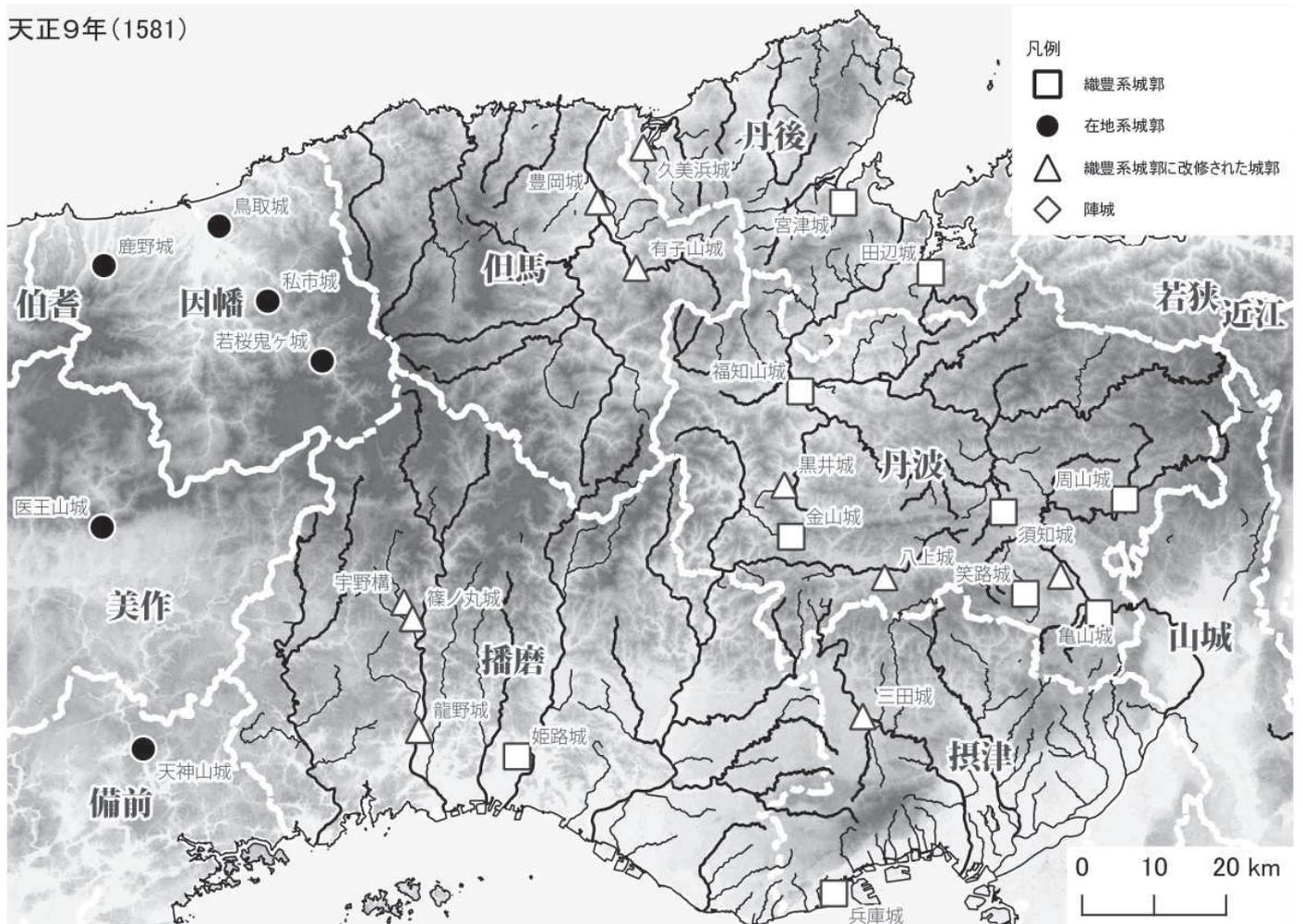
天正7年(1579)



天正8年(1580)



天正9年(1581)





有子山城跡イラスト